

# 平成30年4月教育委員会定例会会議録

平成30年4月17日 開催

静岡市教育委員会

平成30年4月静岡市教育委員会定例会次第

1 日時

平成30年4月17日（火） 午後3時

2 場所

静岡市役所 清水庁舎 3階 第一会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指定

(3) 教育長の報告

(4) 報告

報告第1号 委員の解職及び解任並びに委嘱及び任命について（静岡市社会教育委員）

(5) その他

(6) 閉会

平成 30 年 4 月教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成 30 年 4 月 17 日 (火) 午後 3 時 開会
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3 階 第一会議室
- 3 出席者 教育委員 教育長 池谷 眞樹 委 員 橋本ひろ子  
委 員 伊藤嘉奈子 委 員 佐野 嘉則  
委 員 杉山 節雄 委 員 松村 龍夫

教育委員会事務局

教育局長	遠藤 正方
教育統括監	望月 敬剛
教育局次長	高津 祐志
教育局理事 (教育政策担当)	甲 猛志
参与兼教育総務課長	秋山 健
教育総務課教育力向上政策担当課長	西島 弘道
教職員課長	寺部 晃
教職員課厚生・給与担当課長兼給与係長	秋山 知
教育施設課	村上 徹真
参与兼学校教育課長	川島 広己
学校教育課特別支援教育センター担当課長	渡邊 俊夫
児童生徒支援課	堀田弥寿史
学校給食課長	坂井 義則
参与兼教育センター所長	瀧浪 泰
中央図書館長	市川 智章
文化財課長	岡村 涉
参与兼文化振興課長	矢澤 嘉章
参与兼スポーツ振興課長	稲葉 光
スポーツ交流課長	望月 哲也
教育総務課課長補佐兼総務係長	宮城島清也
教育総務課主査	澤野 倫世

## 4 日 程

### (1) 開会

池谷教育長 ただいまから平成30年4月教育委員会定例会を開会いたします。

### (2) 会議録署名人の指定

池谷教育長 本日の会議録署名人を佐野委員に指定

### (3) 教育長の報告

池谷教育長 資料「4月定例会 教育長報告」により報告  
ただいまの報告のうち、4月10日に行われた「平成30年度市町教育委員会教育長会」について、ご出席いただいた橋本委員よりご報告いただきます。

橋本委員 4月10日に静岡県庁で行われた「平成30年度市町教育委員会教育長会」についてご報告させていただきます。  
初めに、木苗静岡県教育長より地域づくりの根本は人づくりである、県教育委員会も含め各市町の教育委員会が果たす使命は非常に大きいんだよというお話がありました。だからこそ現場を知ることが極めて大事であり、今年度、県教育委員会も現場主義で進めていくという強いお言葉がありました。  
また、これからも社会総がかりでの教育を、オール静岡で推し進めたいという決意を述べられました。  
その後、各課から県教育委員会の今年度事業について、丁寧にご説明いただきました。県教育委員会では組織改正がありまして、教育部が新設されたそうです。今までの鈴木次長が教育部長になられて、次長のお役目は統括担当の理事という職が新設されたということです。  
また、予算面について強調されたことは、県も財政的にとても厳しいんですけども、総合教育会議がとても効果があったということでした。人件費、施設整備費を除いたソフト面でなんと8%もプラスの予算措置ができたということをととても誇っていらっしゃいました。私たち静岡市でもそうですけれども、総合教育会議はとても成果があるなど改めて感じたところです。  
また、コンプライアンスについても強くお話がありました。県では、不祥事は必ず防止できるという構えで根絶を目指しているので、市町でも同じ気持ちで取り組んでいただきたいというお話がありました。

その他、教員の多忙解消に向けて週 10 時間勤務のスクールサポートスタッフを 220 人配置する、あるいは部活動ガイドラインの策定、幼少接続モデルのカリキュラムの発信などにも積極的に取り組んでいくということです。

改めて、今後も県や他の市町と情報交換し、静岡市の教育環境を一層充実させていきたいなという思いを持ちました。

以上、ご報告させていただきます。

#### (4) 報告

池谷教育長      それでは、議事に入ります。  
お手元の資料、会議の流れをごらんください。  
本日は、報告 1 件、その他の案件が 2 件です。いずれも公開案件で行います。

#### <報告第 1 号 委員の解職及び解任並びに委嘱及び任命について

(静岡市社会教育委員) >

教育総務課長      資料に基づき報告

池谷教育長      この件につきまして、何か御質問等ありましたらお願いします。

各 委 員      質問・意見なし

池谷教育長      それでは、この件については、以上といたします。

池谷教育長      以上で、公開案件が終了しました。  
ここからは非公開となりますので、関係職員以外はお退出ください。  
また、傍聴されている方につきましては、恐れ入りますが、御退室をお願いいたします。

#### (5) その他

##### ○その他① 定期監査の結果について

教育総務課長	資料に基づいて説明
学校教育課長	資料に基づいて説明
中央図書館長	資料に基づいて説明
学校教育課特別支援 教育センター担当課長	資料に基づいて説明
池谷教育長	この件につきまして、何か御質問等ありましたらお願いします。
各 委 員	質問・意見なし
池谷教育長	それでは、この件については、以上といたします。

#### ○その他② 静岡市いじめ防止特別調査委員会の経過報告について

児童生徒支援課長	資料に基づいて説明
池谷教育長	この件につきまして、何か御質問等ありましたらお願いします。
伊藤委員	<p>今回の件につきましては、これまでも経緯をうかがってまいりましたが、先週、一連の報道がございまして、私ども教育委員といたしましても、大変心配しております。</p> <p>そこで、私からは三点お話させていただきます。</p> <p>まず一つ目は、いじめ被害を受けた子どもさんのことであります。今の時期は、新学期が始まったばかりでありまして、どの子どもさんもクラスの中で緊張したり、不安になったりする時期だと思えます。ですので、このいじめ被害を受けた子どもさんのことが、本当に心配になります。もちろん、所属されている学校ではきちんと対応してくださっていることとは思いますが、子どもさんにとって学校が安心できる場所となりますように、教育委員会としても、学校に対して支援等を行っていただけますように、お願いします。</p> <p>それから、二つ目は保護者への対応のことです。ただいま児童生徒支援課長よりご説明をいただきましたので、今後の調査につきましては、保護者の方ともよく相談をもちながら、保護者の心情に寄り添って、文部科学省のガイドラインの趣旨も踏まえた適切な対応をとっていただきたいと思います。</p> <p>最後に三点目ですが、今回の報道の課程の中で、個別の名称が出</p>

てしまった学校があります。その学校に通学している子どもさんたちだけでなく、保護者の皆様、地域の方々も、あのような報道に接し、不安になっておられるかなと心配になります。もちろんこれにも学校が対処してくださっていることと思いますが、教育委員会としても、学校に対する支援をお願いします。

児童生徒支援課長

ただいま伊藤委員からお話があったように、被害を受けた子どもさんのことを第一に考えていきたいと思えます。今現在はいい状態で登校できておりますが、やはり4月という時期でもあり、過剰適応ということも考えられますので、このゴールデンウィーク明けも、いい状態が続くように支援を考えていきたいと思えます。保護者への対応については、より耳を傾け、よく聞いて対応していくというようにしたいと思えます。また、個別の学校名が出てしまったことによる、子どもたちや地域の不安に対しても、できる限りの支援をしていきたいと考えております。必要であれば、カウンセラーの派遣もしたいと思えます。

池谷教育長

ただいま児童生徒支援課長より回答のあった三点については、十分配慮しながら対応していきたいと考えております。

佐野委員

やはり、被害児童の保護者からみると、非常に遅々として説明が進まないという気持ちをお持ちかと思えます。もちろん制度上、段階を経て調査を進めていかなければいけないということは理解しているんですけど、段階を経て進めないといけないんですという、そういったプロセスについても説明していただいて、遅々として進まない、全然進んでいないじゃないかという気持ちだけを持たれることがないように、そこはちゃんとした説明が必要だと思えます。先ほどよりお話がある、保護者へ寄り添う、少しづつでも保護者の同意を得て進める、足並みを揃えることが大事かなと感じております。

ちょっと感じているのは、市の教育委員会が設置したいじめ防止特別調査委員会で今後どこまでやっていくのかということですね。それから、保護者側からご要望のある市長部局の調査についてお聞かせいただけたらと思えます。

児童生徒支援課長

まず、保護者への説明、同意という点に関しては、間に入っていた教育委員会事務局としても、もう少しスムーズに行えていければという反省点があります。被害者側としては、第一回の調査委員会を終えた後、全体的な流れ、調査方法やスケジュールがどのようなものかと、期待されていた部分があったかと思

います。それに対して、被害に遭った児童の今の状況を第一に考えて、まずは医師から児童の様子を聞き取り、そこから今後の調査方法を見出していこうと考えていましたので、そこに少しズレがあったかと思います。今後はそういったズレがないように、十分保護者と話し合いをしながら進めていくようにしたいと考えております。

また、市長部局の調査ということに関しては、保護者側との面談ができない状態ですので、今後、今までのことについて、調査委員会のほうでまとめられることはまとめて、しかし、今後継続して進めていくということとはできない状態ですので、どこかでピリオドを打ってですね、そこまでを報告するというところで考えています。

教育局理事 二点目のご質問についてですが、先ほど児童生徒支援課長よりご説明させていただいたとおりですけれども、現在の状況としては保護者の方とコンタクトをとれていないという状況はご承知のとおりかと思えますけれども、対応については、今後検討を進めていくということになろうかと思えます。

杉山委員 私からは一点、お願いをしたいと思います。  
新聞記事が出た日ですが、私も心配になりまして、この学校へ行ってみりました。その時に、いじめをしたと思われる子が一人この日は欠席をしていたんです。そういうこともあるんですよ。  
我々車の仕事をしているものですから、どうしても被害者だけでなく、加害者のほうも被害者になってしまうことが多々あるんですよ。そういったこともありまして、学校に対する支援ということについては、先ほどからお話ありますけれども本当に十分に対応していただきたいと思えます。

児童生徒支援課長 いじめが起こって、このような調査を進めていく場合、加害者も被害者になってしまうという心配もありますので、そうならないようにと思っております。  
先ほどの調査の件についても、保護者を通じてアンケートを行うなど、配慮しながら調査方法を考えていきたいと思えます。

池谷教育長 この件については、保護者ともコンタクトをとれるようにしながら、適切に対応していきたいと思えます。  
そのほか、よろしいでしょうか。

各 委 員 意見・質問なし



池谷教育長　それでは、この件については、以上といたします。

(6) 閉会

池谷教育長　以上で、平成30年4月教育委員会定例会を閉会します。

午後3時36分

(定例会閉会后)

○ 教育委員の任期満了にあたってのあいさつ（伊藤委員）

池谷教育長　伊藤嘉奈子委員におかれましては、この4月23日をもって教育委員としての任期を満了されます。

従って、本日が、教育委員会会議に出席される最後の機会となりますので、ここで一言いただきたいと思います。

伊藤委員におかれましては、平成18年4月24日にご就任 いただいてから、3期12年の間、教育委員をお務めいただきました。この3期12年というのは、歴代の委員の中でも、一番長いものであります。

また、旧教育委員会制度においては、平成23年度および平成28年度の通算2年間、委員長をお務めいただきました。

平成18年4月にご就任いただいた時には、保護者委員として教育委員をお引き受けいただきました。その後も引き続き、保護者として、また弁護士というご職業での法律的な知識や経験を踏まえ、教育委員会における審議においては、常に論理的かつ温かいご意見をいただきました。

会議の場以外でも、大変ご多忙な中、時間を割いていただき、相談にのっていただいたり、御意見を文書でいただいたり、事務局職員にも寄り添って、教育政策の立案や課題解決にご尽力いただきました。

この度、今年23日をもって、ご退任となりますことは、大変寂しい気持ちがございますが、今日のこの機会に、静岡市の教育に対する思いを、私たち教育委員はもとより出席者の皆様に向けて、改めてお話しさせていただきたいと思います。

伊藤委員　12年間の長きにわたり本当にお世話になりました。一緒にお仕事させていただいた教育委員の皆様、そして事務局の皆様、ここ

に出席されている方ばかりでなく、これまでずっと関わってくださった歴代の教育委員の皆さまをはじめ、全ての皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

やはり、12年というとても長い年月でしたので、少し12年間のことを振り返ってお話をさせていただければと思います。

私が12年前に教育委員に就任した当時の教育委員の仕事は、1か月に1回の定例会に出席するだけでありました。それは、教育委員会としてさぼっていたということでは決してなく、全国的に、教育委員の仕事、教育委員会がそういうものだったと思います。

その後、教育改革あるいは教育委員会改革という流れがありまして、静岡市教育委員会も様々な改革に努めてまいりました。

例えば、教育委員会の活性化ということにつきましては、教育委員会の定例会以外に、協議会を設けようということになりました。今では協議会は毎月当たり前のように行っておりますが、協議会が発足した当時は、結構先進的な教育委員会だったと思います。

それから、開かれた教育委員会にしていこうという動きもございまして、例えば市のPTA連絡協議会の皆さんと意見交換会をもつとか、いろいろな関係機関、関係団体の皆さんとお会いして、お話を伺うようにいたしました。その中で感じたことは、やはり現場を知ることがとても大事なのだということがよくわかりまして、その活動を今もずっと続けていただいております。

次に、教育委員会は執行機関なので、主体的に教育委員が関わっていこうという動きもありました。その中で一番大きな動きとしては、第2期教育振興基本計画の策定が挙げられます。大きな計画を立てるときには、普通ですと協議会や懇話会のような外部の会を設けていただいて、そこで皆様の意見を集約していただき、それをもとに教育委員会で議論するという形で今まで計画を策定してきたかと思います。ですがこの第2期教育振興基本計画、佐野委員も一緒にやってくださったことですが、外部の委員会は設けずに、教育委員会が主体となり、皆様から様々なご意見をいただく中で計画を立案するという形をとりました。それがいまの計画となります。

これは手前味噌かもしれませんが、今振り返ってみても、すごく画期的な手法であったなと感じております。

この12年を振り返って、皆様と一緒に一番大切にしてきたことは何かと考えてみました。やはり、それはただ一つ、「子どもの目線に立つこと」だと思います。つい、学校の目線、教育委員会の目線、それぞれの立場があるのですが、そうではなく、子どもの目線に立って教育委員会はどうあるべきか、学校はどうあるべきかと考えると、いろいろなことが見えてくるというふうに感じました。静岡市では「たくましく しなやかな 子どもたち」を目指す子ども像とし、平成34年度から全校で静岡型小中一貫教育を実施していきま

す。すでに先行実施している学校でとても素晴らしい効果が出ているという話を聞いておりました、それが平成34年度から全校実施されると、静岡市の子どもたちが本当にどんどん成長していきだろろうと、今からとても楽しみにしています。

これからもぜひ、子どもの目線に立ち、たくましくしなやかな子どもたちを育てる教育委員会であり続けていただきたいと、本当に心からお願いしたいと思います。

本当に12年間お世話になりました。ありがとうございました。

池谷教育長

ありがとうございました。

ただいまの、伊藤委員の思いをしっかりと受け止め、今後の静岡市の教育をよりよいものにしていくため、力を尽くしていきたいと思ひます。